

令和元年度事業報告

令和元年度上半期の我が国経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に緩やかに回復し、10月に実施した消費税率の引上げにあたっては、経済の回復基調に影響を及ぼさないよう、軽減税率制度や臨時・特別の措置等の対応策が実施され、緩やかな回復が続くことが期待されましたが、下半期に発生した台風等の被害、米中貿易摩擦、新型コロナウイルス感染症の影響等により、経済は極めて厳しい状況にあるとされています。

令和元年度の国内新車総販売台数については、登録自動車と軽自動車を合わせて前年度比4.2%減の503万8727台となり、3年ぶりに減少となりました。内訳として登録自動車は4.6%減の318万2760台、軽自動車は3.5%減の185万5967台で3年ぶりのマイナスとなりました。上半期は前年を5.6%上回っていましたが、下半期は消費税の増税や新型コロナウイルスの不安等により落ち込んだものとみられます。

さて、令和元年度における当協会の事業実施状況ですが、まず、印紙売りさばき事業については、自動車検査登録印紙の売りさばき額が6498万1700円（前年度比2.8%増）、自動車審査証紙の売りさばき額が4533万0500円（前年度比8.2%減）、自動車重量税印紙の売りさばき額が22億8318万3300円（前年度比2.7%減）となりました。

次に、自動車に関する行政庁等の示達事項の周知徹底とその円滑な実施に協力することとして、不正改造車の排除、自動車点検整備推進運動、全国交通安全運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検等に係る啓発として、当協会ホームページへの掲載、垂れ幕・ポスターの掲出及びリーフレット等を配置しました。

また、当協会が会員皆様の利便を確保するため主催している整備管理者研修については、8月と1月に開催した選任前研修に115名の方が、2月に開催した選任後研修には87名の方に受講いただきました。

今後とも三多摩地域での研修を継続実施していくことに加え、より多くの方に受講いただけるよう適切な実施時期等の調整を図って参りますので、運送事業者各位の積極的なご支援をお願いいたします。

事業収入につきましては、台風19号の影響による八王子自動車検査登録事務所の検査業務の休止や新型コロナウイルスを巡る先行き不安等が響き、令和元年度予算に対し約128万円（1.2%）の減収となりました。

施設整備につきましては、三多摩自動車会館の主変電設備の老朽化による突発的な事故を回避するため、自家用電気工作物を廃止し低圧電源に切り替えました。また、八王子支所においては、建屋の雨漏れのため外壁塗装と屋上防水工事を行いました。

令和元年度事業につきましては、第7回定時総会において決議されました事業計画に基づき、堅実な活動を執行することができました。

会員各位のご理解とご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

【令和元年度収支】

平成31年4月1日～令和2年3月31日 (単位：千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|---------|------|---------|
| 会費収入 | 2,193 | 事業費 | 61,494 |
| 事業収入 | 94,739 | | |
| 内訳 | | 管理費 | 51,577 |
| 印紙売り捌き | 13,941 | | |
| 手数料 | 77,486 | | |
| 事務受託 | 3,312 | | |
| 雑収入 | 12,745 | | |
| 合計 | 109,677 | 合計 | 113,071 |